

(一般情報)

## 銚子地域で普及する台風対策としての「べたがけ」利用 ～たび重なる襲来に対応する、キャベツ・だいこんの生産者の取組～

海匝農業事務所改良普及課 令和2年10月1日発

銚子地域にはここ数年、台風に伴う強風によりキャベツ・だいこんに多大な被害が発生しています。特に「風台風」では、海水を含む強風に作物が長時間、吹きまわされて塩害が発生すると夏の高温乾燥時に苦勞して作付けた作物が一夜にして失われます。

この対策として、JAと連携して啓発資料の配布や講習会を続けた結果、以前は皆無であった「べたがけ<sup>(※1)</sup>」が最近の2～3年で急速に増え、地区によっては全面を覆うまでになりました。「べたがけ」の前に、作物の株元に土寄せをすると、さらに効果的です。平成30年には、あり合わせの資材を風雨の最中に「べたがけ」していましたが、先の台風12号の接近に際しては、数日前から専用の資材が利用されていました。

今後も農業事務所では、重要野菜であるキャベツ及びだいこんの安定供給を支援し、関係機関と連携しながら、「食の宝庫 海匝」の実現を目指します。

※1 べたがけ：作物を透明防虫網、不織布、寒冷紗などで直接覆う栽培法

※2 銚子市農業振興会議：市、JA、農林総合研究センター、農業事務所で構成される組織



台風接近に備えた薬剤散布と「べたがけ」



台風対策を検討する銚子市農業振興会議<sup>(※2)</sup>